

## プログラム（午前）

10:00～10:20	<b>開会式</b> 日本ソーシャル・イノベーション学会代表よりご挨拶 オンライン大会進行の説明
10:25～12:00	研究実践報告 A～D、4ルーム（1ルーム：発表者3～2名） *口頭発表後討論者によるコメントがあります 報告①10:30～ 報告②11:00～ 報告③11:30～ <b>ルーム A【学習プログラムの挑戦】</b> ・「物語の知」の学び - カナダ先住民クリンギットに学ぶオンライン学習プログラム開発と実践 - ・オンライン PBL による社会課題解決の実践とその課題 - 島根県隠岐の島町での活動を通じて - ・コロナ禍における学習支援 NPO の取り組み - NPO 法人アスイクの事例 - <b>ルーム B【コロナ禍の多様性】</b> ・コロナ禍における在住外国人支援 -イノベーションに関する一考察- ・コロナ禍における社会起業 - 子ども・若者支援の事例から - <b>ルーム C【アントレプレナーシップと概念】</b> ・華道の現状と課題に対する「いけばな療法」概念の革新性 ・社会起業性のマインドセットの定義に関する研究 (Defining the mindset of social entrepreneurship) ・開発政策における女性の経済的エンパワメントとしてのアントレプレナーシップ形成 の位置付けの一考察 - 東アフリカ地域を事例に - <b>ルーム D【ローカルと社会事業】</b> ・社会変革を見据えた事業展開 - コロナ禍における NPO 法人アスヘノキボウの事例 - ・農工連携プラットフォームの進化による地方活性化の推進 - 進化型（反射板付き）ソーラーシェアリングの提案 -
12:10～12:55	<b>ランチセッション</b> 院生たちとのセッション「日本 SI 学会って？」&マインドフル・ボディーワーク

## プログラム（午後）

13:00～15:30	13:00 13:05 13:15 14:05 15:00	ガイダンス（オンラインセッションの進め方等） ご挨拶 全体セッション ①「危機に強い社会」を創る ②「文化・芸術を礎にする社会」を創る ③ みんなが命を育む社会」を創る 分科会 ZOOM&ウェビナーを選択して入室ください 全体セッション（ふりかえり） *時間は目安です
15:40～16:40	15:45～ 15:55～ 16:05～ 16:15～ 16:25～	ポスター発表 E、Fの2ルーム *発表&視聴者との意見交換お一人合計10分 ルームEポスター 京都市シルク企画 京都市ソーシャルイノベーション研究所5年間の研究報告（仮） ルームFポスター 発表① "特定非営利活動法人ユナイテッド・アースの取り組みー立場を越えたセクター連携による社会課題解決に向けてー 発表② 「介護のスポーツ化プロジェクト」は、継続した地域住民同士の自発的な互助 発表③ 力に発展するか 発表④ アート思考の定性調査とワークショップによる定量的研究 発表⑤ きもの文化の伝統と革新の紐帯
17:00～17:30		ポスター発表奨励賞の授与 審査員より講評
閉会式（中締め）ご挨拶		

## イブニングセッション

18:00～19:30	イブニングセッション 英国 Social Innovation Exchange : SIX とのコラボセッション SIX : 2009年、Geoff Mulgan らによって設立
-------------	--